

## 発電設備点検に係る業務品質管理活動の実施状況について

当社が平成19年に経済産業大臣に報告した「発電設備点検に係る再発防止対策の具体的な取り組みについて」は、平成24年度もこれらの取り組みを日常の業務品質管理活動の中で継続して行っており、発電本部内に設けた発電本部業務品質管理推進会議において再発防止対策の取り組みが計画通りに実施されていることを確認しています。以下に平成24年度の実施状況の概要について示します。

なお、平成25年1月18日にお知らせした「ダム予備動力設備更新時の手続き不備に係る報告書の提出」における再発防止対策の取り組み状況についても、計画通り実施されていることを同様に確認しております。

### 1. 再発防止対策の具体的な取り組み状況

項目	取り組みの概要
コンプライアンスの徹底	
・コンプライアンス教育・研修の一層の推進	・部門教育にコンプライアンスや技術者倫理意識の向上に関するプログラムを組み入れるなどコンプライアンス意識の醸成を図るための教育・研修を実施した。 ・主要な法令に関する教育や法令遵守教育などを実施して、コンプライアンスの強化・徹底を図った。 ・安全文化に関する醸成活動実施計画に基づき、eラーニング、冊子輪読会を実施し、安全文化の醸成に努めた。
・法律改正のフォロー	・関係法令の制改正の都度、実務へのフォローを着実に行った。
業務品質管理の徹底	
・業務品質管理実施状況の定期的な確認	・発電本部業務品質管理推進会議を開催し、各部門のコンプライアンス活動を含む業務品質管理の実施状況を定期的に確認した。
・規程・マニュアルなどの見直し	・業務プロセスの妥当性などの観点から業務をチェックし、適切に業務処理が行えるよう、必要に応じて各部門が所管する規程・マニュアル類の見直しを行った。
・発電設備トラブル情報の共有化	・発電設備に係るトラブルの再発防止を図るために、トラブル情報の共有化ルールに基づき、発電部門内でトラブル情報を共有化して、トラブルの水平展開を図った。 ・原子力トラブル情報を報告基準に従い遺漏なく社長に報告し、その旨を発電本部業務品質管理推進会議に報告した。
・内部監査の実施	・内部監査を実施し、業務品質管理活動の取り組み状況を確認した。 ・品質マネジメントシステムの機能を活用し、ルールに則った業務処理が行われているかなどを確認した。

項目	取り組みの概要
コミュニケーションの充実	
・言い出せるしくみと雰囲気づくり	・情報共有や意見交換などコミュニケーションの充実を図るため、本店管理職による発電所、水力センター、建設所の巡回や訪問活動を実施した。 ・既存の諸会議などを利用して、情報共有や意見交換などを充実させた。
・引き出すしくみの充実	・定期的実施する管理職による個人面談を活用して、相談や意見を引き出すなど、コミュニケーションの充実と引き出せる雰囲気の醸成に努めた。
地域との信頼関係構築の取り組み強化	
・地域との交流の一層の推進	・発電所見学会の実施や、地域行事に積極的に参加するなど従来からの取り組みを継続して、地域とのコミュニケーションや信頼関係の維持・向上を図った。
・発電所運用状況やトラブル情報などの公開	・火力発電所の運用状況などについて、発電所「環境レポート」を発行して、環境保全に対する取り組みのご理解に努めるとともに、ホームページに掲載している発電所情報の充実を図っている。 ・原子力トラブルについても積極的な情報公開に取り組むとともに、できるだけ分かり易い形で情報発信を行った。

以上